

ステンレスバネ鋼帯 パネルZバンド^{PAT}

Epoch-Making New Type
・ステンレスバネ鋼帯
・円形型枠（曲面合板）締付け引張バンド



円形型枠をガッチリサポートする。

ステンレスバネ鋼帯

パネルZバンド PAT



パネルZバンドとは、コンクリート構造物の中で、円形構造物に用いられている、円形型枠(曲面合板)をサポートする引張バンド具です。円形構造物に於いて、コンクリート施工時に発生する、側圧力(水平荷重)に対して、「パネルZバンド」は、日本古来の桶の箍(たが)よりヒントを得、主材料はステンレスを用いて、様々な円形構造物にフレキシブルに対応出来る構造とし、製品化したしました。

パネルZバンドの生コン側圧力の算定/技術基準

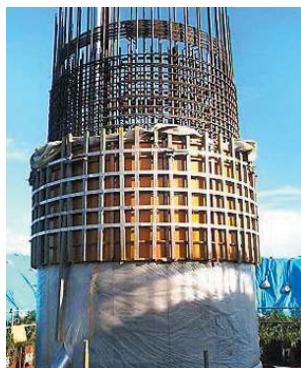
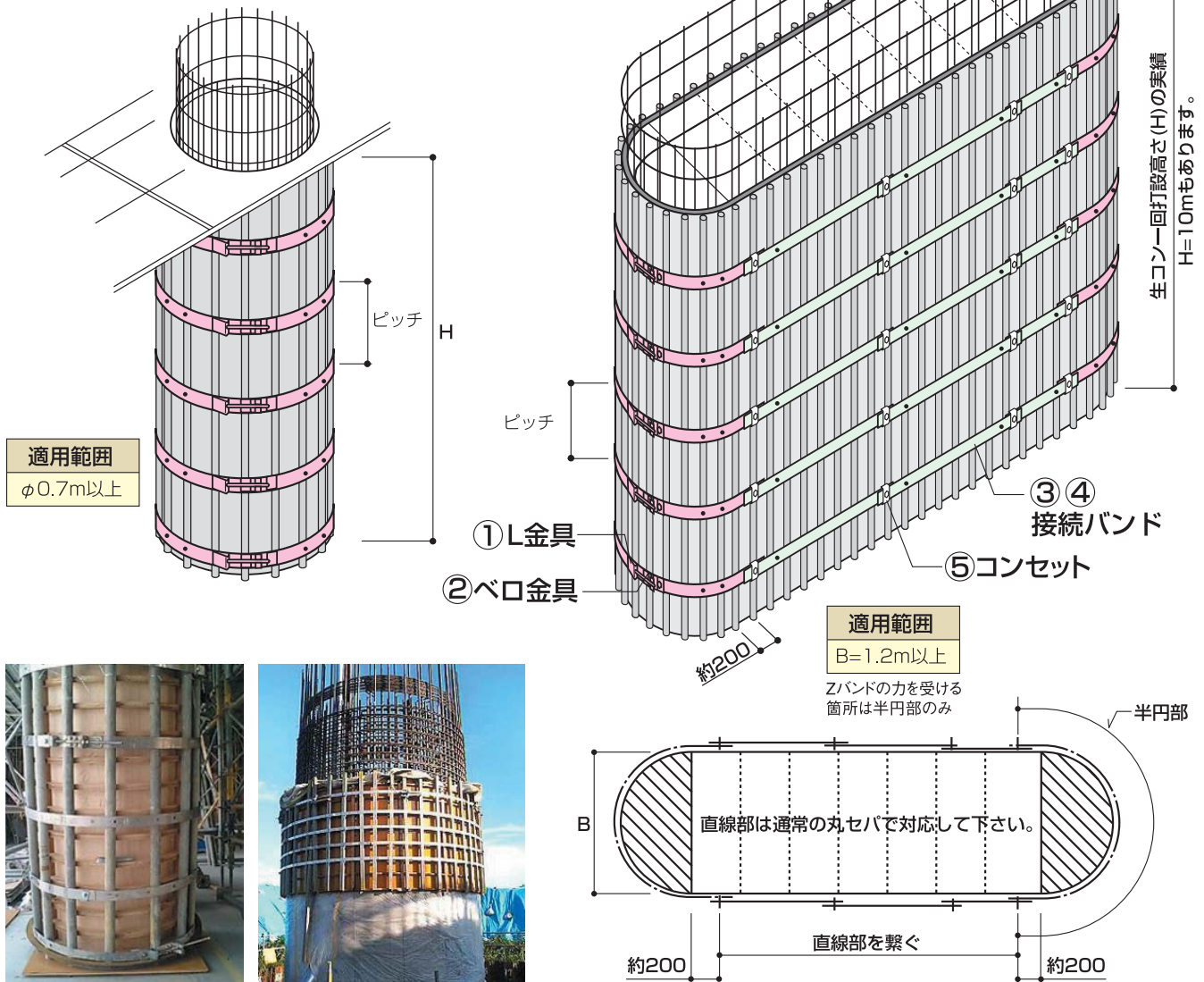
- 土木学会編「コンクリート標準示方書・第11章 型枠および支保工」(1991年版)に準ずる。
- 日本建築学会編「建築工事標準仕様書—鉄筋コンクリート工事・11節 11.6 型枠の構造計算」(1993年版)に準ずる。

1 特長

- ステンレスバネ鋼帯は、何回も使用出来ます。
- 所定の締め付けをすれば、ゆるみ、ひらきが生じません。
- 保管中は、バネ特性の直線性となり、バンドの管理が容易です。

2 用途

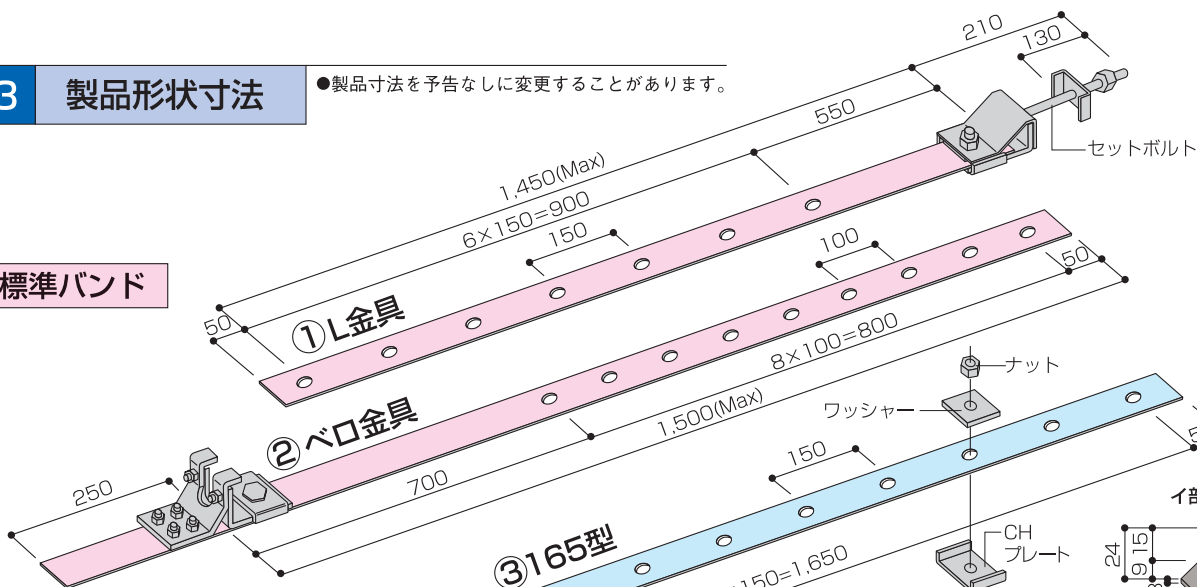
- 円形構造物：例) 橋梁、橋脚、円柱



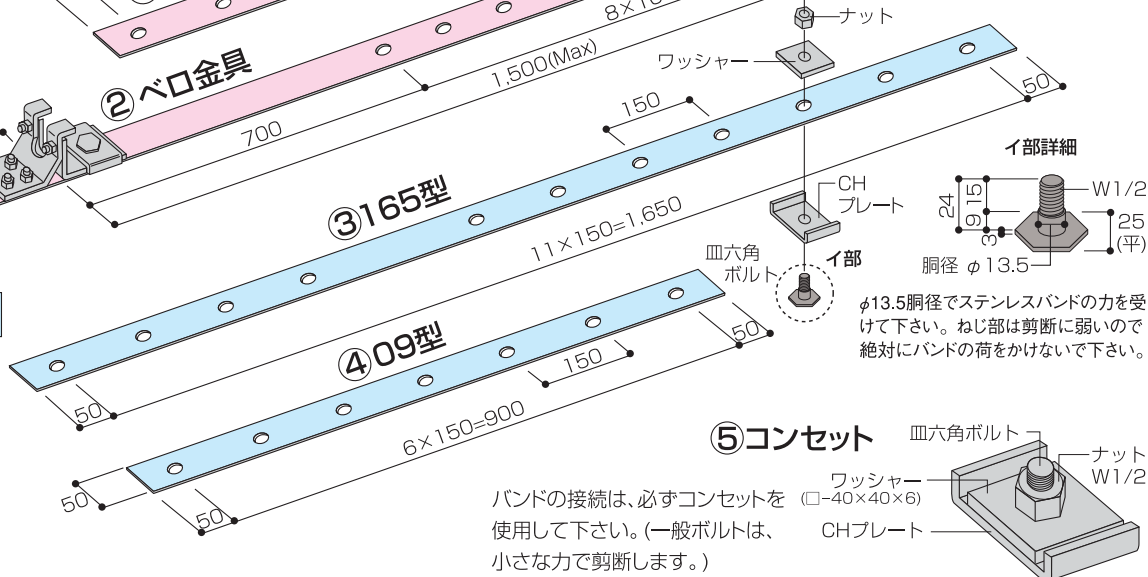
3 製品形状寸法

●製品寸法を予告なしに変更することがあります。

標準バンド



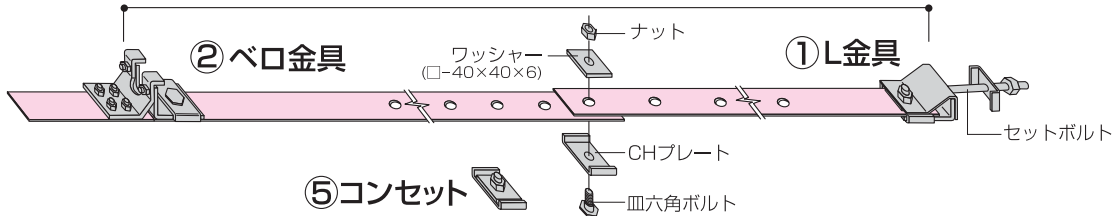
接続バンド



4 組立例

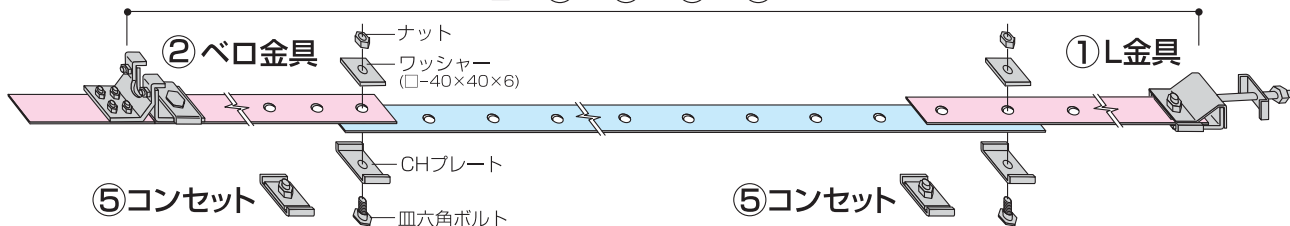
標準バンド (～φ700)

L: パネルバンドのセット長さ(mm)



標準バンド + 接続バンド (φ800以上)

L=①+②+③～④接続バンド



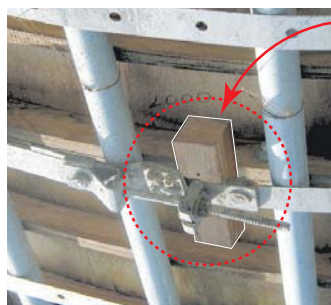
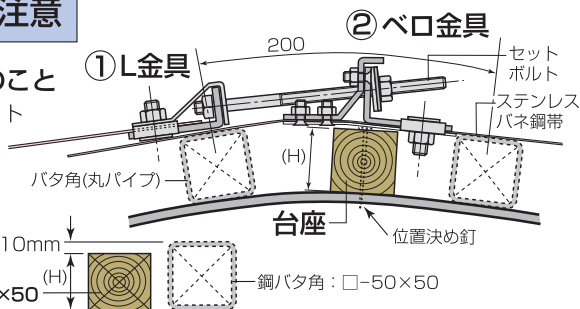
5 取付け上の注意

■台座は必ずセットのこと

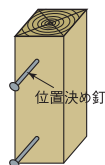
●台座をセットしないとセットボルトが曲ります。

●使用例

5～10mm
(H)
台座寸法: □-40(H)×50
鋼バタ角: □-50×50



●台座 (ベロ金具受け)

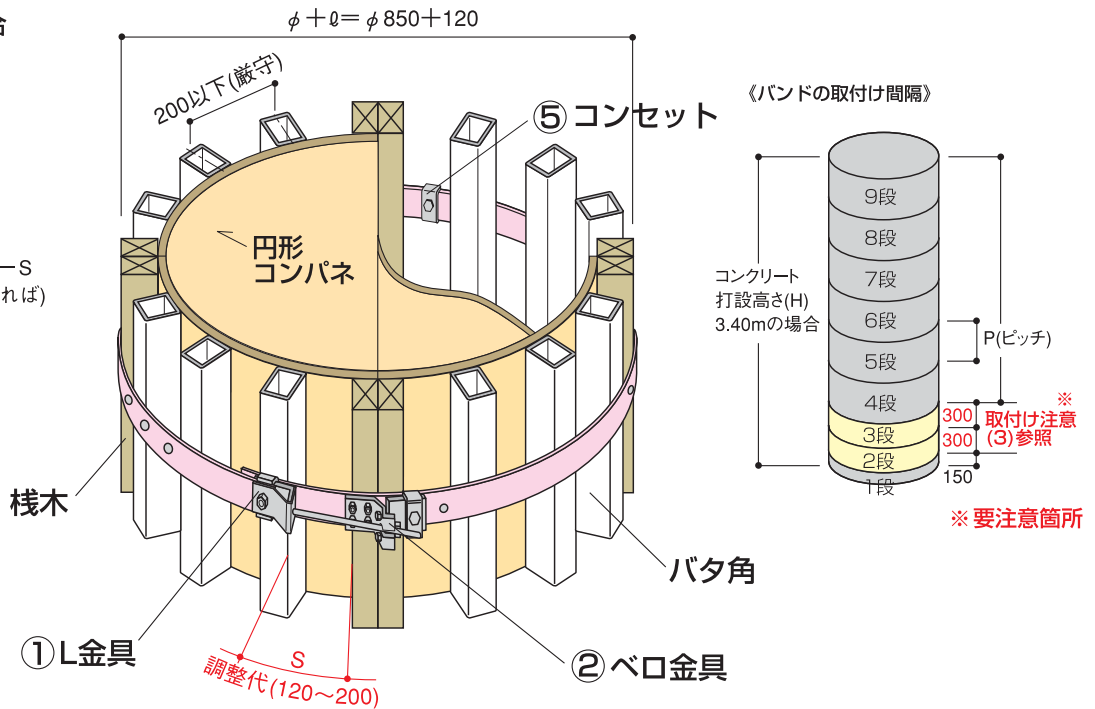


パネルZバンド

6 パネルZバンドの組立て長さ(L)要領

例) $\phi 850$ 円柱の場合

$L = ((\phi + \varnothing) \cdot \pi) - S$
 ここに
 L: Zバンドの組立て長さ
 ϕ : 円柱の直径
 \varnothing : コンパネ+バタ角高さ
 S: 調整代
 例)
 $L = ((\phi 850 + 120) \times 3.14) - S$
 $= 3,045 - S (S = 195 \text{ とすれば})$
 $= 3,045 - 195 = 2,850$
 標準バンドでO.K



7 組立て長さ・ピッチ

(単位: mm)

	直径 ϕ (円形柱)	パネル、栈木 バタ角の高さ	外周長さ $(\phi + \varnothing) \cdot \pi$	組立て長さ (L)	組立て長さ略図	ピッチ (バンドの取付け間隔)
標準バンド	700	コンパネ 12	2,570	2,400	$\langle \phi 850 \rangle$ 	450
	800	12	2,890	2,700		
	850	足場 パイプ +) 48	3,046	2,850		
標準+接続バンド	900	+) 48	3,230	3,050	$\langle \phi 1,100 \rangle$ 	400
	950	120	3,360	3,150		
	1,000	コンパネ 12	3,520	3,350		
	1,100	栈木 48	3,830	3,650		
	1,200	バタ角 50	4,145	3,950		
	1,400	12	4,773	4,600		
	1,800	+) 50	6,030	5,850		
2,000	220	6,657	6,450	$\langle \phi 1,400 \rangle$ 	350	

注) 栈木、バタ角の寸法は地方により異なりますので、ご注意ください。

取り扱い上の注意点

ピッチの算定: 1回のコンクリート打設高さを3.40mとして、側圧力を計算
 パネルZバンド1帯の許容引張力(Pa)=2,300kg/帯
 パネルZバンド1帯に作用するコンクリート側圧力(T) Pa \geq T

取付け注意: (1)コンパネの円形精度誤差は丸セパなどで修正して下さい。

(2)ピッチを大きくすると生コンの圧力で栈木、コンパネが変形するので要注意です。

(3)円柱下部のピッチは、生コン打設時の変形を防止するため、最下段150mm、2・3段目は300mm以下を厳守して下さい。

保全上の注意: 保全上、必ず軍手(手袋)を使用のこ。ステンレスバネ鋼帯の側面が刃形状になっている場合がありますので、ご注意ください。

●製造元

建設の安全と省力にアタック
ゼン技研株式会社

本社 〒818-0105 太宰府市都府楼南5-16-13
 TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449
 URL <http://www.zen-g.co.jp/>

東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-601
 TEL (03)5352-6185 FAX (03)5352-6810